

PRESS RELEASE VOL.2 (2014.9.25更新)

彫刻の森美術館
THE HAKONE OPEN-AIR MUSEUM

保井智貴 佇む空気 / silence

2014.9.20 sat.- 2015.3.1 sun.



《空から》

2014年

漆、麻布、螺鈿、岩絵具、膠、黒曜石、大理石、etc

h.167 × w.53 × d.26cm

作家蔵

保井智貴 佇む空気 / silence

2014.9.20 sat.- 2015.3.1 sun.

彫刻の森美術館では、現代の新しい彫刻表現を紹介するシリーズの第5回として、「保井智貴 佇む空気／silence」展を開催しています。

保井智貴は、乾漆(かんしつ)や螺鈿(らでん)といった古くからある工芸の技法を用いて、人間像を中心に制作している彫刻家です。『非常な速さで前進してゆく現代社会の中で、人がただまっすぐに佇む姿から感じる空気』をテーマに、自然の本来の姿を静謐な空間から表現することを試みています。それは、森や湖などの景色を思い浮かべるときの場面を想起させるでしょう。

麻布に漆を塗り重ねて乾燥を繰り返し、その上に薄く切った貝をはめ込んだ造形には、伝統的な技法と現代的な感性が融合しています。衣服に散りばめた螺鈿の光彩や瞳の貴石など神秘的な装いをまとい静止する人物たちは、日常とは異なる時間のうつろいをあたりに漂わせ、観る者を詩的な空間へと誘います。

本展では、新作を含む人間像と動物作品を交えながら、保井が展開する彫刻の姿を紹介します。

展 覧 会 概 要

【展覧会名】	保井智貴 佇む空気/silence
【会 期】	2014年9月20日(土)～2015年3月1日(日)
【会 場】	彫刻の森美術館 本館ギャラリー (〒250-0493 神奈川県足柄下郡箱根町二ノ平1121)
【開館時間】	9:00～17:00(年中無休・入館は閉館の30分前まで)
【休 館 日】	なし(年中無休)
【入 館 料】	大人1,600円 / 大学・高校生1,200円 / 中学・小学生800円
【交通案内】	箱根登山鉄道「彫刻の森」駅下車、徒歩2分
【主 催】	彫刻の森美術館(公益財団法人 彫刻の森芸術文化財団)
【後 援】	箱根町 / 箱根町教育委員会 / フジサンケイグループ
【協 力】	東京造形大学 / MA2 Gallery
【出品点数】	16点

作家略歴

- 1974 アントワープ生まれ（ベルギー）
2001 東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了
2005 第34回中原悌二郎賞優秀賞受賞
2006 アーティスト・イン・レジデンス（ザ・エルサレム・センター・フォー・ザ・ヴィジュアル・アーツ、イスラエル）
2009-2011 東京藝術大学美術学部彫刻科非常勤講師
2011- 東京造形大学美術学科彫刻専攻領域准教授
東京都在住

<主な個展>

- 2006 「Silence」 ブラバーマンギャラリー（テルアビブ、イスラエル）
「保井智貴展」 中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館（北海道）
2007 「Sculpture」 メグミオギタギャラリー（東京）
2008 「capsule」 メグミオギタギャラリー（東京）
2011 「Tranquil Reflection」 メグミオギタギャラリー（東京）
2014 「Light」 MA2 Gallery（東京）

<主なグループ展>

- 2012 「メグロアドレス-都会に生きる作家」 目黒区美術館（東京）
「第1回 AGAIN--ST」 東京造形大学
「色めく彫刻-よみがえる美意識」 群馬県立館林美術館

<パブリック・コレクション>

- 中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館（北海道）
東京藝術大学大学美術館



本展の見所と構成

1階フロア

開放感のある空間にあわせて、1階の会場は子供や犬を中心とした小作品によって構成し、比較的親しみやすい空間です。



《untitled 2008》
漆、麻布、螺鈿、LP粉、岩絵具、膠、黒曜石、大理石、etc.
h. 104 × w. 35 × d. 21cm
個人蔵



《untitled (IGH1)》
2008年
漆、麻布、岩絵具、膠、黒曜石、etc.
h. 49 × w. 19 × d. 60cm
個人蔵

中2階フロア

中2階会場は美しい白い空間と自然光を活かし、茫洋した空間を表現するように新作の人物像1点のみを展示しています。

会期中、関連イベントとして、+東山佳永+安永哲郎『うつりゆく』を開催。イベントの回数を重ねるごとに、プロジェクトの進行状況が会場内に蓄積されます。



《空から》
2014年
漆、麻布、螺鈿、岩絵具、膠、黒曜石、大理石、etc.
h.167 × w.53 × d.26cm
作家蔵

2階フロア

2階会場は2004年～2012年までの等身大の人物像を中心に、会場全体を活かしたインсталレーションになっています。



《calm》
2010年
漆、麻布、螺鈿、岩絵具、膠、黒曜石、
琥珀、大理石、etc.
h. 160 × w. 58 × d. 31cm
作家像



《echoic》
2008年
漆、麻布、螺鈿、錫粉、岩絵具、膠、黒曜石、
大理石、etc.
h. 163 × w. 50 × d. 28cm
個人蔵



《untitled 2005》
漆、麻布、螺鈿、錫粉、黒曜石、トルコ石、
大理石、etc.
h. 150 × w. 42 × d. 69cm
個人蔵

関連イベント

〈プロジェクト〉 +東山佳永+安永哲郎『うつりゆく』

私達は、淡々と移ろう。

光、季節、風景、空気、日々、表情、関係、形…

動かず、変化しないように見えるものも、動き、絶えず変化している。

淡々と変化していく。速度が違うだけだ。

日の移ろい、日々の営み、全て動き続け循環し動いているからこそ、静を感じることができる。

光があるから影を見て、生きているからこそ死を知る。

私達は、生と死も、静と動も、虚も実も、重なりあって生きている。

東山佳永

このプロジェクトは身体と彫刻を使った展示であり、パフォーマンスでもある。

新作のモデルとなった東山佳永のパフォーマンスと、安永哲郎の音楽による往復書簡が会場内に蓄積されていく。人物像が佇む空気感を3者によって時間と共に構築していくプロジェクト。

イベント日程

【東山佳永滞在日】

日時:9月23日(火・祝)、11月8日(土)、2015年1月17日(土)、2月21日(土)
10:00~12:00／13:00~16:00

場所:彫刻の森美術館 本館ギャラリー 中2階



(9月23日に開催されたパフォーマンス風景より)



東山佳永 kae touyama
踊り手/美術家/作家

幼少時より動きの軌跡、人の身体のラインの美しさに目覚め踊りを始める。空間を設え、その時間に存在し、動きや言葉を編み、物語を生む。土地や場所、建築から声を汲み、あらゆるものを素材に、他者を巻き込みながら、状況や情景を構成し、時空間をつくりだす。分野やものごとの隔たりを溶かすような活動で独自のスタイルを築き、あいちトリエンナーレ2013等の芸術祭に出品。パフォーマンスの新たな可能性を開拓している。

また自身の企画やプロジェクト、ライブ/舞台/映像出演、執筆や朗読も多い。2014年度からsmall village(しぜんの国保育園)に拠点を設け、アーティストとして日常的にこどもたちと関わる取り組みも始めている。

<http://touyamakae.net/>



安永哲郎 tetsuro yasunaga
音楽家

エレクトロ・アコースティックユニットminamoのエレクトロニクス奏者として活動を開始。12K、Room40、HEADZなど国内外の音楽レーベルより多数のCDを発表。都内を中心に積極的なライヴ活動を行う一方、これまでにアメリカ、ドイツ、オランダ、オーストリア、マケドニア、オーストラリアなどの各都市でもコンサートツアーを果たしている。また、2008年より「安永哲郎事務室」名義でコンサートや美術展などの企画・プロデュースをはじめ、音楽関連の執筆、ラジオ番組の編成などを行っている。

<http://www.jimushitsu.com>